

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第8回総会議事録

平成25年1月29日

米子全日空ホテル

平井知事（会長）

皆様、こんにちは。

実行委員・事務局 全員

こんにちは。

平井知事（会長）

本日は、お忙しい中、全国植樹祭の実行委員会にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。皆様のお陰をもちまして着々と準備も進んで来たところでございます。年も改まりまして、いよいよ全国植樹祭まで4ヶ月を切る運びとなりました。もう目の前になりました。全国の皆様がここ、鳥取にやって来られまして、鳥取県の緑の豊かさを見ていただく、森のめぐみを感じていただく、そういう場となります。是非とも、皆様のお力を賜りまして成功裡へ導いて参りたいと思います。本日は、お忙しい中にも関わりませず、伊藤県議会議長様、また、森下会長始め、森林関係者の皆様方、更には町村から、石町村会長さんや、観光でも中島会長さん、更に鈴木局長や坂口社長始め、本当に大勢の皆様、関係各界の方々ご参集承りました。この「全国植樹祭」とあわせまして、「全国都市緑化フェア」も今年開かれますが、木谷会長も来られておられますけども、それとコンビを組みまして是非とも『とっつりのグリーンウェイブ』を起こして参りたいと考えております。

さて、全国植樹祭でありますけれども、皆様に昨年話し合いいただきました。お話し合いに基づきまして、本日はこれからの実施に向けた計画の案をお手元に配布をさせていただいているところでございます。今日最終的な御議論を賜りまして、2月8日に全国の委員会の方に向けさせていただきますと思います。2月8日は、衆議院議長の公邸で開かれるわけでございますけども、いよいよ大勢の方々がお越しになる全国植樹祭が見えて来たところでもあります。すでに、東北から種を持ち帰りまして学校等の場に置きまして、今育てている真っ最中でもあります。全国植樹祭でも東日本大震災で失われた、緑を取り戻す事を宣言し向こうの方に目録を渡すという事になります。秋には、現実に植樹が、東北の地で失われた津波による堤防、失われた堤防を堤防林として蘇らせる、そこに鳥取の力が、美鳥の大使（みどりのたいし）達の力が、埋め込まれていく事になります。地球は緑であります、私達が守り育てる事こそが、大切な事でもあります。その認識を、全国植樹祭を通じ

て多くの方々に見ていただきたいし、実行の場になっていただきたいという風に考えております。式典の詳細も今日整って参りました。先般は音楽関係者の委員会を開かれまして、どうゆう曲を使うかという事も決まって来たところでございます。皆様の忌憚りの無いご意見を承りまして成功へと導いて下さいます様、心からお願いを申し上げまして冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

～拍手～

大北課長

はい、ありがとうございます。本日は40名の出席をいただき、定足数の過半数を超えておりますので、当実行委員会会則第9条第4項の規定によりまして、本総会が成立したことを報告致します。また、ご出席いただきました皆様につきましては、お手元に配布しております出席者名簿をもって出席者の紹介とさせていただきますと思います。最初に、皆様のご同意をお願いしておきたいと思っております。この総会は原則公開としております。更に会議でのやりとりは、ホームページで公開致しますので、ご承知をお願い致します。それでは、会則により会長が議長となると定めておりますので、平井知事に議長をお願い致します。

平井知事（会長）

それでは、議事に入らせていただきたいと思っております。お手元の薄い方の冊子、本日第8回総会の次第が書いてあります。1枚をおはぐりいただきまして、次第がありますが、協議事項、本日3項目でございます。まず1項目目「第64回全国植樹祭実施計画最終案」につきまして、お諮りをいたしたいと思っております。事務局から説明をお願いします。

西山部長

幹事長の西山でございます。宜しくお願い致します。実施計画につきましては、昨年11月に開催を致しました。第7回実行委員会総会にて、委員の皆様からご意見を伺いまして、特に東日本大震災復興支援の詳細、おもてなし、それに関連する植樹行事、輸送計画など検討して参りました。事務局の修正案を1月17日の幹事会で検討致しまして、本日最終案としてご説明を致しますので、皆様のご意見を伺いたいと思っております。詳細につきましては、事務局担当者の方から説明をさせていただきます。

近藤課長補佐

失礼します。全国植樹祭の近藤です。めくっていただきまして、3ページからお願いします。「第64回全国植樹祭実施計画最終案」の抜粋でございます。

4ページの方をお願いします。計画体系を確認させていただきます。全国植樹祭を開催する為には、基本構想、基本計画、実施計画と題材的に計画を策定しまして、国の方に説明をしていく事になっております。2年前に、基本構想を策定しました。

それから昨年は基本計画を策定しました。今年度は実施計画を策定する事にしておりまして、幹事会あるいは総会の場で中間報告をさせていただきます。今回、実施計画を説明致しまして、承認を得られましたら2月8日に国土緑化推進機構が開催します特別

委員会、衆議院議長公邸で開催します特別委員会の方で説明をさせていただくこととしております。

めくっていただきまして、5ページです。開催日は5月26日でございます。新たに中間案から加わった事で東日本大震災復興支援を追加記載しております。取り組みとしましては、2つございまして、1つは「『みどりのきずな』再生プロジェクト構想」に基づく海岸防災林の再生支援という事で、これが国の事業でございますけれども、鳥取県の取り組みの名称としましては「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」という事でございます。仕組みとしましては、東北三県から種子をお預かり致しまして、鳥取県内の小学校、それから苗木生産業者の方に育てていただいた物を再度、東北三県の方にお返しして、現地への復興支援活動に役立ててもらおうという事でございます。加えまして、鳥取県から美鳥の大使（みどりのたいし）の代表を現地に派遣致しまして、現地の方と一緒にしながら防災林の再生を行うという仕組みでございます。それから、もう1つございまして、「東日本復興支援使途限定「緑の募金」」活動を展開したいと思っております。この使途限定募金につきましては、全国植樹祭の共催相手でございます国土緑化推進機構が実施しております使途限定募金でございます。この募金の仕組みとしましては、300円以上募金をいただきますと、左の写真にございます様な丸い木のピンバッチを1個進呈されるという仕組みでございますが、全国植樹祭当日につきましては、この募金額につきまして右手の写真にございます。「トッキーノ」のピンバッチ、これを200円に付き1個進呈という制度で取り組みたいという風に思っております。もう少し詳細に説明致しますと、1000円を募金いただきますと、左のピンバッチが1つ、それから右のピンバッチが5ついただけるという仕組みでございます。

それから、6ページをお願いします。式典行事計画でございます。開始時間につきまして、前回の中間案の時にプロログの中で、東日本復興支援のプログラムをここに入れておまして、「5分前倒しをさせて下さい」という事でお話をしておりました。今回、見直しを行いまして、東日本大震災復興支援のプログラムは、記念式典の方へ移動したいと思います。ただ、アトラクション等々の時間の尺を詳細に詰めていきますと、5分これから短縮すると「少しきつい」という事もございまして、時間につきましては、10時10分のまま、5分前倒しをした状態で、進めさせていただきたいという風に思っております。今回お示しする資料の中で、アトラクションパースが完成しまして、それぞれ「森・川・海」のパフォーマンスのイメージ、それから「大山森話（だいせんしんわ）」のイメージ等々が、新しいイメージになっております。非常にイメージしやすいパースが出来上がっております。

それから、7ページをお願いします。7ページにつきましては天皇皇后両陛下御臨席いただきます記念式典のプログラムでございます。このプログラムの中に、東日本大震災復興支援を追加しております。プログラムの場所につきましては、真ん中より少し下、大会テーマ表現に続きまして、次のプログラムという事で追加致しました。内容としましては鳥取県知事、それからみどりの少年団の代表が、東北三県、被災地の代表者の方に、苗木を

贈呈したいという風なプログラムでございます。それから、右のパスにつきましては、大会テーマ表現の絵でございます。4つの森をダンスとメッセージで表現していきたいという風に考えております。

8ページをお願いします。エピローグにつきましては、参加者、来場者、それから出演者等の一体型の演出で最後を飾りたいという風に思っております。文部省唱歌「ふるさと」の大合唱、これを最後に持って来まして、その「ふるさと」合唱の途中に生分解性の鳥型風船を放天しながら終了したいという事にしております。プロローグ、記念式典、エピローグ、これら全体の演出構成案につきましては、1月8日に開催しました。式典音楽専門委員会の方に諮りまして、承認をいただいているところでございます。演出の詳細につきましては、鳥の劇場の中島先生でありますとか、鳥取県洋舞連盟の指導をいただきます先生のご意見、これを基本としながら詳細を決めているというところでございます。

9ページをお願いします。全体にかかります、出演者の一覧でございます。出演団体ごと、あるいはプログラムごとで掲載をしております、970名程になろうかなという事で今、調整をしているところでございます。非常に多くの県民の方に出演協力をいただく予定にしております。

それから10ページをお願いします。植樹行事計画でございます。これは前回中間案の時にお示しました通りでございます。お手植えの配置それから、お手播きの配置、それから代表記念植樹の場所と特に変更点はございません。前回中間案の時にとっとり花回廊いやしの森の方で、植樹祭開催後の自由植樹を検討しているという事でしたけども、土日を含む一週間程度、自由植樹期間を設定したいという風に考えております。大会当日参加出来なかった方につきましても、植樹が出来るような対応を図りたいという風に考えております。

11ページをお願いします。第4章会場整備計画です。特に変わりましたのは、左上の会場パス図でございまして、花回廊らしくお野立所周辺を花で飾るという事にしてございまして、会場パス図の微調整を図っております。その他の絵につきましては、特に変更ございません。その会場に飾ります花ですけども、中間報告でも行いました通り、11種類を選定しまして、具体的な設置計画等を立てまして、配置をしていきたいという風に思っております。この花の調達につきましては、JA鳥取西部さん、県内の農業高校等に協力をいただきながら調達をしていきたいという風に考えております。

13ページをお願いします。今回新たにお示しする所でございます。仮設トイレの計画でございます。全体会場内には、約116基のトイレを設置する予定にしております、例年特に問題になっておりますのが、星印(☆)の所、おもてなし広場のトイレでございます。全体で62基、その場所で設置する予定にしております、当初JVの方から提案をいただきました数よりも約40%増しで設置する予定にしております。

それから1基あたりの処理人数も先催県に比べますと、非常に少ない人数で設定されておりますので、若干の余裕を持った様な設置数という風に考えております。それから、右

下の方にサイン計画という事で看板のデザインを決定しております。看板のデザインは、「とっとりグリーンウェイブ」を意識しまして、曲線で山並みと海の波を表現した物でございます。自然の豊かさを表す緑色を中心にしまして、グラデーションで表現をし、サイン計画にあった3色を付け加えた様なデザインでございます。

14 ページをお願いします。運営計画でございます。ここの部分につきましては、幹事会でございますか、総会でもご意見をいただいたところでございます。まず、「会場内の動線計画」でございます。式典会場と植樹会場、いやしの森の事ですけども、この間は原則徒歩で計画しておりますけども、高齢者等に配慮した輸送は検討を致します。それから「会場おもてなし計画」でございます。おもてなし広場での滞在時間が十分確保出来るよう輸送計画を今後検討していきたいという事でございます。それから「会場外のおもてなし」につきましては、米子駅前のだんだん広場で、おもてなしブースを設置しまして、県外招待者やあるいは、一般の県民の方も楽しめる場を設置していきたいという風に思います。それから、米子鬼太郎空港につきましては案内所を設置しまして、大会概要案内であるとか、宿泊・観光情報などを提供していきたいという事を考えておまして、これらの内容につきまして実施計画に盛り込みをしております。右下の図面につきましては、現時点でのおもてなし広場の配置計画でございます。

15 ページをお願いします。15 ページにつきましては、実施計画には具体的に盛り込んでいる事ではございませんが、現在の検討状況につきまして報告をさせていただきます。

おもてなし広場の概要でございますけども総合エリア、それから物販、飲食等テント合計で約 28 テントを計画しております。それぞれ内容につきましては、右の方に書いてある通りでございます。それから、ステージを設置する事にしておまして、日野高校さんの『荒神神楽』など 3 団体に出演いただいて、県外招待者の方等にご覧いただけるような場を設置します。会場のイメージにつきましては、右の上の絵の通りでございます。

それから「会場外でのおもてなし」という事で、駅前だんだん広場につきましては、米子市観光協会さんをお願いしまして、催事を開催していただく予定にしております。主な内容につきましては、飲食、物販それから「おうちで植樹祭」という事で、苗木の無料配布、全国植樹祭の生中継こういった事をやりたいという事で今、検討中でございます。それから、「道路沿線の飾り付け」でございます。それぞれ道路管理者の方と協議をしまして設置していきたいという風に考えております。「広報」につきましては、下に書いてある通りでございます。それから、米子空港、米子駅でのおもてなしという事で、これは先程ご説明をした様な中身でございますが、これ以外に前日開催されます。全国後継者大会、こういった方々は、鳥取空港とか、あるいは鳥取駅方面から、鳥取県の方に来県されるという事も想定されております。これにつきまして、鳥取空港、米子駅にのぼりの設置などを検討しておるところでございます。

16 ページをお願いします。16 ページは鳥取県の実施体制をとります実施本部の計画でございます。前回中間案の時には、6 部 22 班という事でご説明を致しました。今回、「県民

参画推進部」を追加しまして、7部25班体制で行いたいという風に思います。県民参画推進部につきましては、大会ボランティア班、とっとりグリーンウェイブ班、東北復興支援班、その3班で構成します。大会当日だけではなく、大会に至るまで、また大会後も業務を担うような組織になろうかなという風に思います。これにつきましては、2月1日に設置をする予定にしております。

17ページをお願いします。研修・リハーサル計画でございます。先催県同様、式典リハーサル、総合リハーサル、前日リハーサルの公式練習につきましては、当県も実施する予定にしておりますが、出演団体等の意見も伺いながら合同練習を追加で計画をしていきたいという風に考えております。下の方に参考としまして、現在の個別練習の状況を報告させていただきます。吹奏楽連盟、合唱連盟さんにつきましては、合同練習を3回、既にやっております。オーケストラ連盟さんにつきましては、2月から、洋舞連盟さんは1月から練習を開始しております。それから創作劇に関係します子供主人公の練習ですけれども、これは11月頃からもうすでに開始をしております。それから、地元開催三町南部町、伯耆町、江府町さんの各小学校にお世話になるみどりの少年団ですけれども、2月から週1回程度の巡回指導をいただく事にしております。南部町内の小学校につきましては、創作劇「大山森話」の方に出演をいただく予定です。演技指導につきましては、鳥の劇場さんをお願いしております。それから、伯耆町と江府町の小学校につきましては、「森・川・海」のアトラクションに出演いただく事にしておりまして、洋舞連盟さんの方に演技指導をいただきます。それから、右の方に書いてございますが、式典音楽隊の合同練習を3月23日、13時30分から県立武道館の方で開催する事にしております。吹奏楽、合唱、オーケストラ合同での練習という事になりますので、もし宜しければ見に来ていただいて応援いただければという風に思います。

それから、18ページをお願いします。宿泊輸送計画でございます。前日も報告致しました通り、後継者大会の方につきましては三朝温泉に宿泊をいただきますが、それ以外の方につきましては、皆生温泉あるいは米子、大山エリアに宿泊をいただく予定にしております。それから、視察計画につきましても、式典当日だけではなくて式典前日も視察コースを設定しまして、観光振興も図れるような取り組みをしたいという風に考えております。

それから植樹の関係ですけれども、県外招待者につきましては、午前・午後希望により設定するなどして柔軟な対応をしていきたいという事でございます。また、宿泊地の出発時間ですけれども、当初は6時あるいは6時30分を想定しておりましたけれども、午前・午後の植樹の時間を設定する事によりまして、現地の出発時間は、原則7時以降を予定しているところでございます。

19ページをお願いします。19ページは、駐車場の計画でございます。鶴田の駐車場、消防学校、大山隠岐国立公園上楨原駐車場、この3つで検討しておりました。前回の総会の中でも行いましたけれども、もう少し近場で探せれないかという事で、検討しました。

工場跡地等、それから河川敷等も見ましたが、工場跡地につきましてはボーリング調査した結果、地盤が弱いという事がございます。それから河川敷等につきましては、非常に多くの台数を止めるという事は、まず不可能という事でございます。鶴田の駐車場周辺を確認しまして、ここに約 150 台のバスが駐車出来ると言うことで、全体の約 70%がここに駐車出来る事になります。特に緊急の場合等がありましても、150 台が一度に運航開始という事にはなりませんので、時間差等考えまして、鶴田の駐車場をメインにしまして、消防学校、上楨原駐車場等で予備を対応したいという風に考えております。

それから、20 ページをお願いします。荒天時の式典計画でございます。晴天会場の式典プログラムから各アトラクション等を除きまして行いたいという風に考えております。

プログラムの中に、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きの後「東日本大震災の復興支援」を追加、記載しております。式典の時間につきましては、50 分程度という事で記載しておりますけれども、運営上は 45 分程度という事になる予定でございます。また、荒天に移行する流れでございますけれども、実施計画の本編の方に先催県同様の基本的なフローということで掲載しておりますけれども、荒天が想定されるという場合には、早めの打ち合わせを行うなど、早期の対応をしていきたいという風に思います。

それから、21 ページをお願いします。県民運動計画あるいは記念事業等計画、それから広報・協賛計画でございます。これまで、様々な行事を行って来ておりますので、記録的な内容としまして、記載をさせていただいております。

平井知事（会長）

はい。以上説明がございました。今の実施計画本体は、分厚い冊子の方でございます。

2 月 8 日に、これを衆議院議長公邸で報告をし、了承をお願いしたいという風に申し上げております。なお本日これから、政府が予算案をまとめるタイミングです。そうした政府の考え方も我々のこの大会理念と若干響く所もございますので、その辺は微修正をしたり、細部におきましては色々と 2 月 8 日に調整すべき所は調整させていただいて提出を諮りたいというのが考え方でございます。皆様の方からご質問、ご意見ございましたらお寄せをいただきたいと思っております。

大北課長

議長、ちょっとよろしいでしょうか？事務局からですが、若干先程の説明で補足させていただきたいと思っております。実施計画案の 2 ページ目をご覧ください。真ん中辺りに「日本の動き」というのがございますが、安倍新政権になってから森林環境保全に関わるトピックス等もこのページに盛り込んでいこうという風に考えております。それと、49 ページでございます。申し訳ございません。先程、午前植樹・午後植樹という説明がございましたが、午後植樹についてもタイムテーブルに記載していきたいという風に考えております。

それと、90 ページでございます。記念事業等の内容という事で、この中にも「東日本大震災の復興支援」についても反映して行きたいという風に考えておるところでございます。

平井知事（会長）

以上、事務局の説明をいただきました。いかがでしょうか？ ご質問なり、ご意見をお寄せいただきたいと思います。本件につきましては、昨年秋に皆様にお伺いした所でございます。特に無ければ、この様にさしていただいてもよろしゅうございますでしょうか？

各委員

異議無し

平井知事（会長）

はい、どうもありがとうございます。それでは、次の協議事項に入ります。協議事項の3の2と3。「平成24年度収支補正予算案」、また、「平成25年度の計画と収支予算」これにつきまして一括して提案させていただきたいと思っております。事務局からご説明を致します。

濱本課長補佐

事務局の濱本です。宜しくお願ひ致します。資料2、22ページをお開き下さい。平成24年度、今年度の収支補正予算をお諮りします。収入の部でございますが、皆様の方に協賛金のご依頼、ご協力お願ひ致しまして、今の所965万円のご協力を得たところでございます。それと、緑の募金、交付金が国土緑化推進機構からの交付金でございますが、これが、150万得円収入出来る事になりました。その合計、1,115万円を収入の補正としたいと思っておりますので、ご承認をお願ひしたいという事でございます。それから支出の部の方ですが「大会計画策定業務費」、これは150万円増という事にさせていただきたいと思っております。

これはちょうど、緑の国土緑化推進機構からの緑の募金、交付金の150万に当たるものでして、交付金が緑化事業等の資材が出る物という事がございましたので、ホームステイ用の苗木とかポットの購入費に当てたいと思っております。それから協賛金965万円につきましては、協賛いただいた皆様のご意見に添うよう、平成25年度の方に繰り越して使用させていただきたいと思っております。以上が平成24年度の収支補正予算でございます。

それから、23ページ、24ページをお願ひ致します。全国植樹祭は、平成25年度の年度当初、5月26日の開催という事になります。この機会に來年度の事業計画と予算を皆様の方にお諮りしたいと思っております。23ページの平成25年度事業計画の方でございますが、実行委員会等の会議運営費、来年は総会また、一緒に運営していきます市町村等の皆さんとの連絡調整会議を開催していきたいと考えています。それから、大会広報でございます。カウントダウンイベントの実施、これは50日前とか、30日前とか、節目の所を捉えて広報出来るカウントダウンイベントを実施したいと思っております。それから、PRグッズの作成、それから屋外広告物、横断幕とか、懸垂幕とか、そういう広告物等の設置、また開催日にありますので、開催特集号の新聞記事、これは各先催県発行しておられますけど、そういうような開催特集号の発行などを考えています。それから、会場整備がありまして、花回廊であります植樹祭の飾花、花の育成、花の飾花、それから両陛下の歩かれる御歩道などのウッドチップ舗装などを考えております。それから4番の「県民運動とっとりグリーンウェイブの推進」といたしまして、とうほくとっとり・森の里親プロジェクトの推進、それから美鳥の大使（みどりのたいし）、現在4万6千人を超えていますけども、さらに美鳥の

大使（みどりのたいし）の活動を実施していこうと思っております。大会直前には、美鳥の大使（みどりのたいし）の皆さんの一斉活動というようなこともしたいと思っております。それから、植樹祭開催後になりますが、自由植樹、花回廊いやしの森の方で開催後1週間ぐらい自由に植樹をしていただける期間を設けたいと思っております。それから、大会実施の方ではリハーサル、式典リハーサル、総合リハーサルなど、それから前日のリハーサルを実施して式典、それからおもてなし広場、それからレセプション、それから宿泊輸送、大会の実施を行うという事です。それから大会記録の作成という事で記録誌、記録DVD等を作成したいと思っております。

24ページの収支予算ですが、収入の方と致しましては、繰越と考えておりました965万円分、それから負担金として392,394,000円、それから雑収入として15,000円程度で合計402,059,000円の収入を見込んでおります。それから支出の方でございますが、会議等を運営する会議運営費を645,000円、それから大会広報費で15,480,5000円、それから大会の実際の運営の経費、仮設工作物設置・撤去ですか、大会の式典の経費、それからリハーサル経費、それからレセプションとか招待者の運送等の経費、384,583,000円、それから事務局の運営費と致しまして1,346,000円。これはボランティアの編成の運営費ですとか、先程立ち上げようと思っている本部員の研修費などを見込んでおまして、合計402,059,000円という事で支出を見込んでおります。下の方に予算執行に関する付帯事項というのを書いておまして、これは5月26日の開催に備えて、式典やおもてなし広場の運営業務委託ですとか、輸送業務委託、物品の調達など年度当初の開催に備えまして準備しなければならない物については、平成24年度中から手続きをして準備に万全を期したいと思っておりますので、ご検討いただきますように宜しくお願ひしたいと思います。ただし、支払いについては、平成25年度に行いたいと思っております。以上、宜しくお願ひ致します。

平井知事（会長）

それでは、ただいまの予算関係、事務局関係につきまして、何かご意見ご質問ございましたらよろしくお願ひします。どんな事でも結構ですから。

それでは、続けさせていただいてよろしゅうございますでしょうか？

各委員

異議無し

平井知事（会長）

それでは、ありがとうございます。次の議題に入りたいと思います。4.報告事項、5.その他、これらを一括して議題とさせていただきたいと思います。まず、事務局から順次報告事項から報告を兼ねてお願ひを申し上げたいと思います。そしてその後、皆様自由に意見交換をさせていただきたいと思います。

近藤課長補佐

25ページをお願いします。式典音楽専門委員会の検討結果につきまして、報告をさせていただきます。今年度5回専門委員会を開催しました。式典音楽とそれから式典の演出の

両面で検討をいただいております。式典音楽隊の編成規模であるとか、それから楽曲などを決定しております。それから、楽曲につきましては、右の表の通りでございます、郷土の生んだ作曲家の作品を中心に編曲をされております。それから、ファンファーレにつきましては、わかとり国体の式典音楽の方から取っておりますけども、これは貝殻節のメロディを編曲したようなファンファーレとゆうことで採用されております。それから、演出構成案につきましても、同専門委員会が審議し承認を得ておりまして、練習計画を立てて、順次練習をしているところでございます。

濱本課長補佐

26 ページお願い致します。JR 米子駅前広場に残日計設置致しました。12 月 1 日、開催前 176 日に当たる時です。当日は実行委員会の皆様にも沢山出席いただきまして、盛り上げていただきまして、ありがとうございました。この大山のブナ林が、デザインしてありました、残日計でございます。当日は、米子東高、式典音楽隊のメンバーであります米子東高の皆様ですとか、創作劇の出演者方にご出席いただいて、イベントを開催致しました。以上です。

池内課長補佐

続きまして、27 ページをご覧ください。とうほくとっとり・森の里親プロジェクトについてをご案内致します。先程来説明がありましたが、東日本大震災で津波被害で失いました何百 km もの海岸防災林を、これの復旧が進むということがございまして、その苗木が非常に不足しているという実態でございます。そこの支援としまして、本県が育てました苗木を東北三県にお持ちするという内容でございます。いわゆる遺伝子攪乱の面から、その種子につきましては、被災地から集めた物がよろしいという事がございまして、去る 11 月 15、16 日に三県に参りまして、約 3300 本分の種子を頂戴して参りました。これにつきまして、現在、鳥取県山林樹苗協同組合さんが、県内のみどりの少年団を結成しておられます 19 個の小学校の方に配布致しまして、大切に育てていただいているところです。これが、現場へ持ち込みいただけますのが、いずれにしましても、今年の秋以降になりますので、この植樹祭の時には目録を贈呈するという PR をしていただきまして、秋以降に現場の方に持ち込みたいという風に考えております。ただその時にあわせまして、美鳥の大使（みどりのたいし）の代表者の方に、震災復旧の活動に参加していただくという事もあわせて考えております。

田中課長補佐

引き続きまして、資料 7、28 ページご説明申し上げます。一般招待者募集等の結果についてでございます。表の中ご覧ください。美鳥の大使（みどりのたいし）の枠、あと一般参加者、2 つの枠組で募集を致しまして、特に一般参加者につきましては、2050 名の方々の申込みがございました。ご覧の通り抽選日 1 月 23 日に抽選を致しまして、当選結果につきましては、2 月 1 日にまず、当選の方に発送する予定にしております。あと、一般参加者の方、募集人員等、約 800 名程度等しておりますのは、他の枠組等で欠席と若干、席が空

いた場合には、この 800 名プラス、若干数一般参加の方々にも参加いただけるような枠組を考えたいという意味合いも含めまして、このような形で整理をさせていただいているところでございます。資料 7 についての説明は、以上でございます。

梅田参事

引き続きまして、資料 8 のご説明致します。最後のページの折り込みをお開き下さいませ。今後のスケジュールでございます。本日、1 月実施計画（案）の策定、鳥取県（案）の策定でございますが、引き続き 2 月 8 日に実施計画の決定という事で、国の特別委員会に諮らせていただきます。以降 3 月には、宮内庁の実地調査など、矢継ぎ早に調査が入って参りますので、本格的にスタート致します。また、同時並行致しまして、スタッフが使いますマニュアルの整理を進めて行く事しております。合同練習など、吹奏楽隊等の練習につきましては、式典リハ、総合リハ、前日リハまで合同練習を重ねて、本番に臨みたいと考えております。県職員の実施本部につきましては、今週末金曜日、2 月 1 日に立ち上げる事しております。また、天皇皇后両陛下の御臨席予定でございますお野立所の完成につきましては、年度を明けまして、4 月に姿を見せるという風な形でございます。大会 5 月 26 日に向けまして、成功に導きたいと思っております。なお、この表の右側、欄がございせんが、大会終了後につきましても自由植樹、秋の「全国都市緑化フェア」それから「エコツーリズム国際大会」を通じて全国にグリーンウェイブの輝きを発信していきたいと思っております。以上でございます。

平井知事（会長）

以上、各報告がございました。この報告についてでも結構でございますし、どんなことでもご自由にご意見あるいは、ご質問等いただければと思います。いかがでございましょうか？

森下会長

ちょっとよろしいですか？

平井知事（会長）

はい、森下会長。

森下会長

一般招待者について、800 名程度という事になっておりまして、若干でも増やしたいという事務局の説明があったんです。2000 名の応募者の中で 800 名っていうのは、非常に当選される方が少ないんじゃないのかという事を思っておりますね、出来る限り多くの方に参加をしていただけるように配慮をお願い致しました。けども、あまり良い結果にはどうもなっていないようでして、半世紀に 1 回しか開催がされんという事ですので、出来たらですね、高齢者の方に特別招待という事にしていただいて、100 名とか 200 名とかプラスして出席をしていただくというような事にならんもんかなあというような気がして、先般お願いしたですけれども、改めて検討いただきたいなあという様に思っております。こういった非常にまあ、天皇皇后両陛下がおられるという事で警備等色々問題があるので

はないかという様な気もしておりますし、広場の問題もあるかもしれませんが、せっかくの機会ですので、そういった事を検討いただきたいという要望でございますので宜しくお願い致します。

岸田参事監

はい、ご指摘をいただきました。一般参加者をもっと増やしていただきたいという事でございます。今、県外の招待者を紹介、各県に照会をしております、その枠が現時点でだいぶ何百という単位で余る可能性が出て参りました。それをまず、みどりの少年団が今、枠の中に入っておりませんので子供達、みどりの少年団の出席人数に充てていきいと、その残数をこの一般参加者に出来るだけ振り分けて多くの方が、1人でも多く出席をいただけるようにという風に配慮をする予定でございます。

平井知事（会長）

この席数っていうのは、総数はどうやって決まるんですか？

岸田参事監

会場内のベンチの数でございます。物理的に、ベンチがこれ以上入らないというところから計算をしております。

平井知事（会長）

これからまた、みどりの少年団枠も必要ですし先程、森下会長の方から高齢者の方にも機会を与える、それはもう50年までは生きていないという事なので。ちょっとその辺は、色々と、例えばカテゴリーごとに何人とか決めて多くの方が参加していただけるように検討いたします。その他いかがでございましょうか？ よろしいですか？ 佐野先生の方から、いいですか？

佐野教授

すみません。簡単な質問2つ。1つは、薄い方のページの5ページに書いてある、東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動、これ良いことだと思うんですけども、これは当日だけなんですか？それとも、前の方からやって継続的にやっていることなのかという事が1つと、それと、自由植樹期間を1週間程度設けるという事ですが、この時に植樹する苗木は事務局の方で用意する物なのか？ それとも参加者が持って来るのか？ 教えて下さい。

大北課長

この使途限定「緑の募金」活動でございますが、おもてなし広場と後、米子駅前のだんだん広場で行いたいなあとという風に思っておりますので、まずは、当日のみという事でございます。それと自由植樹につきましては、苗木は当然こちらの方で用意させていただきたいという風に思っております。

佐野教授

ありがとうございます。

平井知事（会長）

その他いかがでございましょうか？無いようでしたら、これで議事を閉じさせていただきます。

きたいと思います。結びに当たりまして、鳥取県議会の伊藤議長の方からご挨拶をいただきたいと思います。

伊藤議長

皆さん、熱心な協議ありがとうございました。また、事務局の方々の取りまとめも非常に分かりやすい説明をいただきました。こうやって着々と最終段階の計画を見てみますと、実は私、昭和40年、第16回の植樹祭を経験しておりまして、係は駐車場係でしたけれども、その当時もやっぱり感動といいましょうか、植樹・森・緑の感動は今でもはっきりと覚えています。そして、その後、6回全国植樹祭に行きました。行ったところで中身は違って来ますけれども「緑を大切にしよう」、「森林を大切にしよう」という基本的な姿勢は変わっていないと思います。県としても環境先進県とっとりという事を全国にアピールする絶好の機会、大会だろうと思っています。ただ先程、森下会長が言いました、出来るだけ多くの方に参加していただいて、その感動を皆さんで分かち合えると、これはやっぱり美鳥の大使（みどりのたいし）あるいは環境先進県ととりの1つの取り組みではないかと思っています。

実は、私、先日ウワミズザクラを植えてみました。やっぱり植えると、自分で植樹に参加するという事は、やっぱり自分もこの環境先進県ととりの一員だなという、そういう思いが強くなるんじゃないかなと思っています。こんな段階になって、あと数ヶ月ですが、まだまだ詰めて行くべきことがあります。大山と花回廊、これは他の県には無い素晴らしい会場だと思っています。鳥取の大会が、本当に「成功して良かったなあ」と、そういう大会に出来たらと思っています。後数ヶ月の詰めに宜しくお願い致しまして、閉会のご挨拶にさせていただきます。今日は、どうもありがとうございました。

～拍手～

大北課長

はい、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして「第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第8回総会」を閉会致します。皆様の熱心なご討議をいただき、ありがとうございました。気を付けてお帰り下さい。

実行委員・事務局 全員

ありがとうございました。